

第2回短期英会話講座生徒募集

前回好評だった初級英会話講座です。テキストに沿って「会話力」を身につけましょう。

と き：2023年1月8日～3月26日の日曜日 (全12講座)

じかん：10：00～11：30

ところ：いきがい創造センター
ワーキングスペース

※都合により変更があるレッスンもあります。

受講料：6,000円 (初回に前納)

※別途教科書代約3,000円が必要です

※テキストは第1回と同じものを利用します。

募集人数：12名程度

申し込み：11月7日 (月)～11月末まで

対 象：18歳以上 (高校生不可)

新規参加者を対象にしております。

講 師：ロバート・ダン氏
(カナダ出身)

※講座はすべて英語で
進めます。



令和4年度 団体・法人会員 (順不同)

クラウン商事(株)	木下製罐(株)
榎本建築設計事務所	兵庫南農協 天満支店
NOBBY FARM	三美塗装工業(株)
インドネパールダイニング・ヴィレッジ	(株)稲美乳販
(株)アシス	赤松機器工業(株)
ヤマデン(株)	播磨水産 国岡店
デリカフーズ(株)	イナミススポーツ
田中縫工所	綿久リネン(株)
いなみマイマイ工房	木村建設工業(株)
かうらい屋	キング醸造(株)
広田鉄工(株)	印南養鶏農業協同組合
タイヤの岡田(岡田トレーディング)	稲美町シニアクラブ連合会
植田住地(株)	(株)麦わら(ダディースベーカー)

～ボランティアスタッフ募集～

稲美町国際交流協会の事業運営の実働スタッフとして活動してみませんか？稲美町で国際交流や異文化理解、外国人サポートのための事業を企画運営します。幅広い年齢の方に活動頂き、活気のある町づくりに繋げていきましょう。

ご興味のある方は、当協会事務局までお問合せください。

日本語ボランティア講師募集

ボランティアとして、外国人に日本語を教えて下さる方を募集しています。(一定の講座を受講された方に限ります。)ご登録をお待ちしております。

編集後記

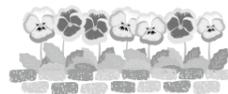
澄みきった秋空の下、留学生の顔を思い出しながら3年ぶりのホームステイ事業「いなみ野の里」を無事終わられたことにほっとしています。コロナ第7波が猛威を振るう中、開催してよいか、みんなで話し合いを重ね、ホストファミリーの皆様のご意見もお聞きし、十分な感染対策を行うことで開催を決定しました。いつもより短い日程ではありましたが、留学生もホストファミリーも楽しんで頂けた様子が感想文からあふれています。また、いつの日か稲美町に来てくれたらうれしいですね。最後になりましたが、御協力頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(1)

会 員 募 集

未来の稲美町の国際化に寄与し、国際交流事業への賛同・ご支援いただける方を募集しております。稲美町の国際交流促進のため、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

【年会費】・個人	1口	1,000円 (小中高生500円)
・家族	1口	2,000円(同居)
・団体、法人	1口	5,000円

※ご加入いただけます方は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。



【わーどクイズ③の答え】②トウキョウ (カノム・トーキョー)

クレープのようなお菓子の、出店でよく売られています。具は自由に選べる事が多く、食事っぽくもおやつっぽくなるみたいです。

わーど

年2回
6月・11月
発行

第60号

2022. 11. 1

ふれあい交流 ‘いなみの里’ ホームステイ事業2022



セバスチャン(インドネシア)
ドミニク(マレーシア)

ヨウ(中国)

カルヴィ(インド)

マダーラー(スリランカ)

(下段)

(上段)

サーシャ(ベルギー)
ビーム(タイ)
トンホーム(タイ)
ローラ(エジプト)
ミー(タイ)

3年ぶりの開催となったホームステイ事業！今年は8か国10人の大阪大学留学生が稲美町にやってきました!!みんな日本語がとても上手なのでコミュニケーションをとるのもスムーズでした。

1日目 8月13日 歓迎会

稲美野万葉太鼓会の皆様による迫力ある演奏で入場した留学生を、ホストファミリーがキャンディレイをかけてお迎えしました。そして、来賓の方々も交えて留学生による母国わーどクイズで楽しみました。



迫力ある稲美野万葉太鼓の演奏でお迎えしました。4Fホールに響き渡ります!!



中山町長もクイズに参加されました。



ようこそ稲美町へ!!



稲美町イメージキャラクター「いなっち」



いよいよ
3泊4日の
ホームステイの
始まりです!!

わーどクイズ③：タイにある日本の地名の食べ物とは何でしょうか？

①アイチ ②トウキョウ ③オオサカ

答えは最終ページ右下にあります。

2日目 8月14日 水辺の里交流

水辺の里公園さんのご協力のもと、キッズカレッジの子どもたちと一緒に活動しました。午前中はペアの留学生とキッズで協力して藍染作業をしました。藍の葉を揉み込み、白いスカーフに色を入れていきます。パタパタと空気に触れさせ素敵な色に仕上がりました。お昼は夏の風物詩「流しそうめん」を体験。さらにスイカ割もみんなで楽しみました。



きれいなブルーに染まりました。



流しそうめんは大好評でした。



※コロナ感染対策に十分配慮して活動を行いました。

午後からはいなみっこ広場に移動して、折り紙の先生に手持ち付きの箱の折り方を習いました。留学生と小学生で教え合いっこしながら「難しい鶴」にも挑戦しました。その後、縁日遊びとして射的や千本引きを楽しみました。



ペアの留学生と折り紙を楽しみました。射的も初めての経験かな？



3日目 8月15日 ホストファミリーとのフリーデー

4日目 8月16日 お別れ会

4日間はあっという間です。留学生に稲美町滞在の感想を一言ずついただき、お別れの会としました。いなっちもお見送りに来てくれました。留学生は稲美町のいいところをたくさん発見してくれました。またいつでも遊びに来てほしいですね。



いなっちもお見送りに...

楽しかった思い出を一生懸命話してくれる留学生たち。



最後はみんなで記念撮影。

ご協力いただいた皆様、4日間ありがとうございました!!

～ホストファミリーと留学生の4日間の交流より～

柴田ファミリー

3年ぶりに

マレーシア出身のドミニクくんがホームステイに来ました。1日目は初対面でのウェルカムパーティーで、ワールドクイズで次男が頑張り優勝しました!帰ってからゲームを息子たちと一緒にしました。串カツを揚げています、手伝ってくれました。2日目は水辺の里で日中は行事があって、夜は簡単なちらし寿司にしました。錦糸玉子を作ったり、盛り付けを手伝ってくれました。夜は手持ち花火を家でしました。久しぶりだったそうです。3日目はお昼がそうめん前日とかぶってしまいました。ごめんなさい。面白い、楽しいところに行きたいと希望していたので、大きな花火を見たさもあるって姫路セントラルパークに昼から行きました。車でサファリパークへ行ってから、遊園地で少し乗り物に乗りました。激しいライドは苦手だったようです。暗くなってから10分だけでしたが、3年ぶりに大きな花火を見ました。一緒に感動しながら帰りました。帰りの道でのししが飛び出てきたようで、驚きました。息子たちとも仲良くなれたところですが、4日目にお別れパーティーでした。5月に来日したばかりなのに、日本語を上手に話していました。たくさん試験もあると思いますが、陰ながら応援しています。

ドミニク(マレーシア)

遊園地へ行きました。本当にいろいろなライドがあります。マレーシアと比べると、激しいのライドが多い。特にジェットコースター。それでも、みんなと一緒に楽しみました。嬉しかったです。花火大会は初めてでした。夜8時頃始まりました。すごく綺麗で素敵に見えます。花火いっぱい打ち上げました。花火を見ている時、全部の疲れる気が消え去ったと感じました。



赤松ファミリー

ようこそわが家へ

我が家にとって3年ぶり4回目のホームステイ。今回はタイからミーさんを迎えました。本名はモンコンキッタウィポンさん。大学で週に1時間の日本語の授業しか受けていないとは思えないほど日本語が上手でした。歓迎会の後、大好物のサーモンの買い物からスタート。夕飯の準備も途中にして初めてだというゴルフの打ちっ放しと一緒に出かけ、夢中になっていたミーさんが今でも印象に残っています。初日は、以前ホストファミリーとしてタイの方を受け入れていた親戚や何度かタイに旅行した娘との話に花が咲き、グッとお互いの距離が縮まったように感じました。ミーさんは色々なことにとってもよく気が付き、いつも何か手伝うことはありませんか?と聞いてくれます。簡単な食事の写真も毎回ご家族に送っていて、家族思いの優しさがみられました。フリーの日は送り盆の日と重なったので、ゆっくり観光はできませんでしたが、淡路にドライブに出かけました。車中でのしりとりでは、『ご』→「ご覧になる」には感心と笑いが。最終日にはたこ焼きでお別れ会。娘夫婦に簡単なタイ語を教えている様子を見ると、落ち着いたなら是非タイに行ってみたくなりました。今回の開催は協会の方には本当にご苦労があったと思います。しかし送別会で留学生が、ホストファミリーの皆さんと一緒に和やかに話している光景を見ると、今こそ国際交流が大切なのではと実感させられました。3泊4日と短い期間でしたが、我が家にとっても楽しい思い出ができました。ありがとうございました。

ミー(タイ)

ホームステイプログラム

稲美町での3泊4日間のホームステイプログラムは素晴らしい体験した。ホストファミリーはとても親切で、いろいろなことに連れて行ってくれて、楽しかった。食べたことのない料理を食べたり、行ったことのない場所を行ったりして、面白かった。初日は、ホストファミリーと一緒に巻き寿司を食べたり、人生で初めてゴルフに行ったり、難しかったけどとても楽しかった。2日目は、小学生と一緒にスカーフを藍染めしたり、折り紙を遊んだりして、よかった。3日目は、スケジュールに沿ってフリーデーだけど、ホストファミリーと一緒にいろいろな場所に連れて行ってくれた。淡路島に行ったり、いさなぎじんぐうという神社に行ったり、ハモという淡路島の有名な魚を食べたり、過ごしたりして、嬉しくてよかった。ホームステイプログラムを終わって、タイに帰った後で、懐かしくなるはずだ。4日間は短い時間だが、このホームステイプログラムはずっと忘れない。



廣田ファミリー

異文化交流

出合いがあれば、別れがあるのが世の常ですが、タイからの好青年「ビーム」と過ごした4日間は、あっという間に過ぎました。本当に家族が一人増えたようで、孫たちもスマホゲームですぐに打ち解けており、彼はユーチューバーになれるほど、フォロワーが4万人もいるとのこと、夜は、編集のこと音楽のこと様々なりとめも無いことで遅くまで息子たちと話しをして居り、まさに異文化交流でした。8月15日は、終戦記念日の話から、タイの法王陛下が来られたお寺に彼を連れて行ってあげられ、彼も感動していたのがとても心に残り、私もうれしい思いとなりました。いつかタイから日本にまで名前が知れ渡るインフルエンサーになるよう応援しつつ、今回の貴重な体験をさせて頂きましたことに感謝しております。今後、機会があれば彼の住むタイの都会にも行ってみたいと思っています。本当にありがとうございました。

ビーム(タイ)

ホームステイに感動すること

1日目 いなみ野に行く時は「万葉の森」に寄って、昼ごはんをみんなと一緒に食べてうれしかった。新しい友達を作った。サンドイッチもとてもおいしいのである。その後ひろたさんに会って、本当にきんちょうした。歓迎会を終わった後にひろたさんの家に行き、みんなと会うとうれしいのである。2日目 2日は小学生といろんな活動をやって、みんなは上手で元気いっぱいである。私のペア(あいりちゃん)はやさしくて、かわいいである。いろんなことを私に教えてくれてありがとう。スタッフもみんなやさしくて、感謝した。2日の夜ごはんは焼き肉である。本当においしい。3日 ひろたさんは私を三草山という寺に連れて行ってくれた。そして、れいめんをひろたさんとひろたさんの息子と一緒に食べた。夜ごはんはお寿司である。みんなはやさしくて、仲良しがいいのである。本当に感動した。



～ホストファミリーと留学生の4日間の交流より～

木村ファミリー

我が家には、中国出身のシンちゃんに来てくれました。

うちでは犬を飼っているのですが、シンちゃんの家でも飼っているという事もあり、朝早く起きて一緒に散歩をしてくれるなど、とても可愛がってくれました。3日目のフリーデーは牧場に行って乳牛の見学をし、そこでとれた牛乳で作られたアイスクリームを食べました。

そして夕食は、中国の餃子を作りました。中国の家庭では皮から手作りするようで、シンちゃんに教えてもらいながら家族みんなで作って、茹で餃子にしました。手作りならではのもちもち感があり、大変おいしかったです。

シンちゃんの人柄は明るく、多くのことに興味を示して、沢山質問してくれました。初めてのホストとして、手探りの部分もありましたが、シンちゃんにも楽しんでもらえたようで良かったです。4日間は本当に短い期間でしたが、私たち家族にとって大変濃く、楽しい時間となりました。



シン(中国)

いい思い出

13日の朝から、わくわくして、いなみ町のホストファミリーとの会いに期待しておる。スタッフたちは熱心で、歓迎式に感動を強く受けた。ホスト家族の母と娘と一緒に座って、同じ年だから、すぐ慣れてきた。話し合っ、気も合っ、幸運だと思っ。そして、ワンちゃんも友好を示して、父と弟もいつもにこにこして、やさしく話してくれている。娘の桃歌ちゃんと一緒に寝て、共同のトピックは多すぎ、三日間はやっぱり足りない!! 日本にいた最後一ヶ月、また会えると約束して、中国の水際政策が変えたら中国に来てと約束した。

フリーの日はめっちゃいい思い出だ。一緒に父の友達の家に行った。最高の乳牛のアイスを食べ、日本の牧場の経営とか、牛乳の誕生の過程が分かった。大変勉強になって、特に母ちゃんはずっとやさしく私の問題をいちいち答えて、和菓子屋に行った時、店員さんに頼んで、留学生がちょっと見学してもいいといった配慮をいつもいねいにくばってうれしい!! 最後のばんごはんはギョウザをつくる。中国でいつも家族一緒につくったので、それを提案して、ホスト家族の桃歌ちゃんと母と父と協力して、おいしい中国と日本風ミックスのギョウザをつくった。おじいちゃんとはじめてそんなおいしいギョウザを食べてよかったといって、うれしい!! 父ちゃんは今後もホスト家族四人で一緒につくると言った。紙は足りない。もっと多くのイベント、ワンちゃんとの散歩、おじいちゃんとの交流もめっちゃ素晴らしい思い出!! 最高のホスト家族だ!!

米澤ファミリー

日本語が格好いい!?

ベルギーから来たサーシャはロシア語・オランダ語・英語・日本語を自在に操る才女です。「日本語がしゃべれたら格好いい?!」という理由で勉強し始めたようです。美人で背が高く、モデルのような彼女と3泊4日「うまく過ごせるのか?」と、お互い探りながらスタート。自宅に着いて5分も経たないうちに、以前ホームステイした留学生が描いた絵を見つけ、「私も描きたいです。」と言って、手早く歓迎会で撮ったイナッチとの写真を見ながら器用に描いてくれました。もちろん上手な絵にも感動したのですが、素早く私達に馴染もうとする姿に心を動かされました。

フリーデーは姫路へ。3時間姫路城を隅から隅まで見学。その後、商店街へ。見るだけのつもりが…。色々見ると欲しくなる。「娘と買い物ってこういうのか?」あっちの店、こっちの店、いや、もう一回さっきの店へ。迷って悩んで、お互いいっぱい無駄な買い物してしまった。「あー、楽しかった。」買い物って最強のコミュニケーション。一番、二人の距離を縮めていました。

そして最終日。サーシャが帰途へ。何度も何度もハグし、グッと涙をこらえ、バスが見えなくなるまで手を振っていました。もちろん、次はベルギーで買い物しようね!



サーシャ(ベルギー)

忘れられない三日間

8月13日10時に私の忘れられない三日間が始まりました。私と留学生のみなさんの友達は少し心配しましたが、楽しみでバスに乗りました。万葉の森でおいしい昼食を食べてから、始めてホストファミリーを会いに稲美町の歓迎会に向かいました。あそこは、自分の国の旗を持ちながら、ホールに入りました。すごく、ワクワクしました。自己紹介、クイズ、いなっちくん、お菓子から作ってもらったネックレス…色々な思い出が作らせてもらいました。ついに米澤さんと会いました。米澤さんは私のホストお母さんになっていただいて、嬉しいです。素敵な人です。この三日間は本当に感謝いたします。

始めの日はアイスクリームを食べたり、花火をしたりすることはぜったいに忘れられません。幸せの気持の一日でした。

14日は水辺の里公園で染物体験をさせていただきました。小学生のみなさんと一緒に一日頑張っ、本当に楽しかったです。イベントの後に、おいしいたこやきを食べさせてもらいました。私も自分で少し焼いてみました。思ったより難しかったけど、自分が作ったおこのみやきはやはりもっとおいしいです。

15日に、一日中姫路城で遊びました。姫路城に行ったり、抹茶を飲んだり、買い物しました。

明日はもうお別れ会で、さびしいです。三日間で米澤さんは本当の家族の一人になりました。このプログラムに参加させていただいて、本当に本当に本当に嬉しすぎます。心から感謝してます。

福田ファミリー

日本に慣れたひまわり娘のマダーラーさん

我が家へようこそ

インド洋に浮かぶ島国スリランカからマダーラーさんが我が家に来てくれました。今まで男子学生を受け入れてきましたが今回、初めて女子学生を受け入れました。

マダーラーさんの日本語はきれいで、上手で、とても流暢でした。6年生から日本語を専攻し、学んでいるとのことでした。同じ仏教国でもあり、礼儀正しく、親近感がありました。毎晩、色んな話をしました。本当に短い間でしたが、料理(天ぷら)と一緒にしたり、お茶を楽しんだり、習字をしたり、日本文化を少し伝えることが出来ました。15日は1日フリーだったので、娘家族と一緒に淡路に行きました。船に乗るのは幼稚園の時以来、2回目だったそうです。渦潮を見てとても驚いていました。その日の夕食はまだ食べたことないと言っていた「お好み焼き」にしました。コロナで11月から8月までの短期留学だったこともあり、来日前に思っていた色々な所に行き、たくさんの人と出会い、日本文化を体験する等、少ししか出来なくて残念だった。又、是非来たいと言っていました。

今、スリランカは大変な状況ですが、日本語と日本文化をとても愛し、何事にも感謝し、いつも「ありがとう」と言ってくれたマダーラーさんが日本に来て、会う人会う人が皆んなとても親切で「人はこんなにも誰にもやさしくなれるのか」と思ったそうです。それを聞いて、今の日本を憂いていましたが、とても嬉しく思いました。お世話いただいたスタッフの皆様、ありがとうございました。



マダーラー(スリランカ)



植田ファミリー

心に残るホームステイ

今年は、インドネシアからまじめでやさしいセバスチャンが我が家に来てくれました。

現在、日本語、日本の文化を勉強しているということで非常に熱心で、絶えずタブレットをチェックしていました。

孫たちも一段と成長し、留学生と深く意思疎通が出来、日本で当たり前のことが外国では違っていたり、異文化交流を通して日本のすばらしさにも改めて気づいたそうです。また、日本語、日本文化のことについて話すことが出来て楽しかったようです。

フリータイムは、明石城、魚の棚を散策し、その後、ボウリングをして楽しみました。夕食は皆でカレーを作りおいしく頂きました。

今年は短期間でしたがすごく刺激があり、元気をもらい、家族皆でにぎやかに楽しく過ごすことが出来ました。本当にありがとう。

夢に向かって頑張っ下さい。応援しています。機会があればまた来てね!

最後になりましたが、スタッフの皆様方、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



セバスチャン(インドネシア)

稲美町で過ごした日々

歓迎会室に入った時凄い太鼓のショーを見て、心臓も合わせられそうでした。緊張になった。しかし、結局、ホームステイファミリーに会えてよかった。家に連れて行って、美味しい手巻きと刺身を食べてくれた。

翌日、水辺の里公園で色々な体験をして楽しかった。15時ごろに帰って、家の庭でバーベキューをしました。美味しかった。それに植田家族の親戚や友達も来た。食べたあとで花火を遊んだ。楽しかった。

フリーデーにホストファミリーと一日を過ごした。美味しい明石焼きを食べて飲むわらびもちを飲んだ。それから、ボウリングをしに行った。家でまたりょうりをした。

最初に来た時、私はすごく緊張しました。知らない人の家に泊まること、人の世話になること。でも、段々その知らない人と分り合っ、緊張も消え去った。一方、忘れられない幸せ思い出になった。この度に自分の家族と一緒に住むことを思い出された。だから幸せでしたが、同時に分かれて、悲しいです。今度また会えるとても嬉しいです。

過去の留学生との交流報告

2006年受け入れシャノザ(タジキスタン)

「今鳥取県で暮らしています。お盆に会いに行ってもいいですか」

7月のある日、こんなメールが夫の元に届きました。16年前に我が家でホームステイをしたタジキスタンの元留学生シャノザさんからでした。タジキスタンにいとばかり思っていた彼女が、まさか日本にいたとは!ただただ驚きでした。お盆休み、私たちは16年ぶりの再会をはたしました。17歳だった女の子は素敵な大人の女性になっていました。16年前ホームステイをしたことは本当に忘れ難い貴重な経験だった、という彼女の言葉。ホストファミリー冥利に尽きます。再び交流がもてたことに深く感謝します。次回は鳥取で再会できるといいな。



大向ファミリー×シャノザ

2012年受け入れニア(スウェーデン)

大向ファミリー×ニア

この夏のもう一人の訪問者は、スウェーデンの元留学生アントニア(通称ニア)さんです。彼女は今、東京で働いています。毎年、お盆とお正月には我が家に帰省してくれます。私が東京に行ったときは食事を一緒にしたりと、これまで受け入れた留学生の中で、最も深い交流が続いています。大学の入学式と卒業式にも家族として出席しました。ご両親が来日された際には、必ずお会いして食事などを共にしています。以来、家族ぐるみのお付き合いをしています。ニアが言うには、今年は「10周年記念」なんだそうです。ニアが初めてホームステイをしに来たのが、10年前のことです。お陰さまで、今では私たちの大切な家族の一員で、気を遣うこともなく、彼女が帰省するのを楽しみにしています。

～ホストファミリーと留学生の4日間の交流より～

井上幸一ファミリー

かけがえのない思い出をありがとう

今回初めてホストファミリーをさせていただきましたが、始まるまでは緊張と不安でいっぱいでした。

うちに来てくれたカルヴィちゃんはその場の雰囲気華やかにするような笑顔いっぱいの素敵な女の子でそんな心配は一瞬で吹き飛びました。語学力がない我が家でしたが、日本語がとても上手でコミュニケーションを取るのも全然苦にならず本当に家族全員で楽しませていただきました。

カルヴィちゃんは日本の宗教や伝統芸術などに興味があるということで、書道をしたり、お寺に参ったり、送り盆を体験してもらいました。

他には一緒に花火をしたり、バーベキューしたり、釣りに行ったり、まだまだ一緒にしたいことがいっぱい時間で足りず残念でした。

何でも興味を持って明るく元気なカルヴィちゃんに出会えて、幸せな時間を過ごせていい思い出ができました。

かけがえのない出会いを作ってくださった国際交流協会の皆様、本当にありがとうございました。



カルヴィ(インド)

日本人のあたたかさ!

いなみ町のホームステイは言葉で表せないほど楽しかったです。日本に来てから10ヶ月も経ちましたが、手作りの日本食を食べたのははじめてでした!最初の歓迎会でみんながすごく明るくて、子どもたちの伝統的なパフォーマンスが興味深かったです。それからホストファミリーの家に行って家族のみんながとても暖かくて、まるで家族の一部だと感じました。お母さん、お父さん、かえちゃん、まさやくん、みんながとても優しくしてくれました!だんごを作ったり、ゲームをしたり、やきとりをしたり、花火をしたり最初の日だったので楽しかったです!

いなみ野の里の色々なプログラムも非常に面白かったです。「あいぞめ」、そうめんがし、すいかわり、今まで経験したことがないものばかりでした!おりがみと色々なゲームもとても楽しかったです!パートナーのもしもちゃんもすごく明るくてたくさん話した!

そのあともホストファミリーとつりをしたり、つなマヨのおにぎりを自分の手でにぎって、ピザを作って、海で遊んでかえちゃんと書道のクラスに行ったり、まさやくんと一緒に日本語で数学の宿題の勝負して非常にうれしかったです!!

日本人と接する機会がなかなかないから(授業と寮も留学生のほうが多いですから)この4日間は貴重な経験になりました!実際の日本の家族はどうかは体験できてとてもうれしいです。日本の文化を自然で味わうことができました!一人暮らしのさびしい生活から開放されたみたいで、戻りたくないです!ホストファミリーとふれあい交流のスタッフのみなさまに心から感謝いたします!!大変お世話になりました!また日本に来る機会があったらぜひいなみ町に行きたいです!みなさんもぜひインドにいらっしゃってください!!この4日間まことにありがとうございました!!

船原ファミリー

ローラちゃんとの思い出

ローラちゃんは、エジプト人なのに日本語をすらすら喋れて日本のことをいろいろ知っていてすごいなと思いました。ローラちゃんが、初めてすることをいろいろ一緒に体験しました。トランプ・かき氷・ナイトサファリ・花火・手巻き寿司・たこ焼き・おなべ・お茶をしました。ローラちゃんは、とっても元気でびっくりしました。ローラちゃんによかったと思いました。ありがとうございました。また、これからもいろんな国の人と仲良くなりたいです。



ローラ(エジプト)

とても楽しかったです。かぞくはみんなやさしくて、りょうりつくるのとても上手です。このプログラムにさんかさせていただいてほんとうにありがとうございました。きのうはかぞくとゆうえんちに行きました。そしてsafari parkに行きました。こどもといっしょにあそんで、とても楽しかったです。おせわになりました。いいおもいでをつくりさせていただいてほんとうに心からかんしゃいたします。ありがとうございました。バイバーイ♡

井上愛美ファミリー

ネギお兄ちゃん

留学生と過ごす夏は久しぶりでしたが、家族みんなとても楽しみにしていました。

家では娘の作った千本引きやスーパーボールすくいや夏祭りを再現したり、たこ焼きを焼いたり、トランプや折り紙をしたりと、日本らしいことをして遊びました。

3日目のフリータイムでは淡路島をドライブして玉ねぎうどんを食べに行き、帰宅後はBBQと花火をして楽しみました。

タイのことを教えてもらったり、たくさん遊んでもらったおかげで、娘はタイの国旗を覚え、海外に興味を持つようになり、私たち大人はもちろんです、子どもたちにとっても充実した4日間でした。

トンホーム(ネギお兄ちゃん)、楽しい夏をありがとう。



トンホーム(タイ)

いなみ町でホームステイの思い出

1日目、とてもドキドキして楽しかったです。子供たちがとても元気でした。お母さんとお父さんに合うのがうれしかったです。お母さんが作った料理はばくの母が作った料理のような味でしたから、なつかしかったです。

2日目、布を染めるのが始めてなんですから、とても楽しかったです。小学校たちと色々な夏の活動も楽しかったです。特にそうめんを食べている時にお弁当がまだあるって分かったとちょっとビックリしました。その時、おながももういっぱいなるからです。

3日目、今日は一番楽しかった日でした。おみやげを買いに連れてくれて、玉ねぎあげっていう名物を食べに連れてくれました。夜にはバーベキューを食べたり花火をやったりしたのはとても楽しかったです。

このホームステイのプログラムは日本に着いた後で今まで最もよい体験でした。本当にありがとうございました。ぜったいにこの思い出を忘れません。

2022国際理解キッズカレッジが開講しました!!

◎第一回 世界のボードゲームで遊ぼう 6月18日(土)

第一回の活動は、今年度一緒に活動する友達の前で自己紹介から始まりました。その後、丸尾洋品店の丸尾さんを講師に迎え、世界のボードゲームで遊びました。グループに分かれて色々なゲームで交流を深めました。はじめましての友達と打ち解けられたかな?



子供達はゲームが大好きですね!みんな楽しそうでした。

◎第二回 外国のことを知ろう with ALT 7月2日(土)

第二回の活動では、稲美町内で活動されているALT講師のエバン先生(アメリカ)とケント先生(カナダ)をお招きして、ユーモアたっぷりに母国のことを教えてもらいました。高校生ボランティアの山内陽月さんの英語の自己紹介を聞いて、カレッジ生も英語での自己紹介を頑張りました。

英語での自己紹介ではみんな好きなものを教えてくださいました。



エバン先生 ケント先生

◎第三回 留学生と交流しよう 8月14日(日)

第三回は、稲美町にホームステイに来た留学生と交流会です。藍染と一緒にしたり、流しそうめんを楽しんだり、折り紙を教え合ったりと盛りだくさんの1日を過ごしました。長い時間の活動で、留学生とも打ち解けられた様子でした。



共同作業で交流を深めました。

◎第四回 JICA見学に行こう 8月20日(土)

第四回は、JICA見学に行きました。JICAってどんなことをしているの?世界の中で日本の役割や、自分が出るって何だろう。。。といったもの生活からさらに大きな世界へ、視野を広げることが出来たかな?

将来稲美町から世界へ羽ばたく子供たちがいるかもしれませんね。



JICA海外協力隊としてガーナに行かれた相川さんのお話を聞きました。